



## 1 日本語指導講師の派遣



学校では、授業は日本語で行います。日本語を学ぶことはとても大切なことです。

教育委員会は日本語が話せない子どものために、日本語指導の先生を学校に派遣しています。

学校で個別の授業を行います。早く日本語が上手に話せるようにがんばりましょう。

週1回、日本語指導の先生が学校に行き、2時間教えます。

この支援は、原則1年間、最長で1年半継続することができます。

## 2 協力者（母語が話せる先生）の派遣



来日したばかりで、日本の習慣や学校についてわからない子どものために、

教育委員会は母語が話せる協力者を学校に派遣しています。

2020年現在、市には、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ロシア語、

中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、カンボジア語、ヒンディー語を話せる協力者がいます。

自分の国の言葉で、学校についての悩みを話したい場合は、この支援を利用してください。

学校で開かれる「保護者面談」の時に協力者が派遣される場合もあります。

## 3 国際教室について

日本語の支援が必要な児童生徒が多い学校には、学校に「国際教室」があります。

(2020年度 小学校11校 中学校3校)

週に数回、「国際教室」の担当の先生が、日本語や苦手な教科の勉強を個別にサポートします。

## 4 校外での日本語支援や学習支援

神奈川県や相模原市には、ボランティア活動をしている団体が多数あります。

日本語支援・学習支援の教室があります。平日は夜に開催されます。土曜日や日曜日は日中に開催されています。

- ◆ 日本語支援ボランティア
- ◆ 学習支援ボランティア

※ SL19（国際交流ラウンジ 登録団体）参照